

### 3 - 9 1988年9月5日の山梨県東部の地震活動

#### Seismic Activity in the Eastern Part of Yamanashi Prefecture (September 5, 1988)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

1988年9月5日00時49分頃、山梨県東部でM5.6の地震(35°29'N・139°02'E・深さ31km)が発生した。この地震による震度分布を第1図に示す。最大震度は4(甲府・河口湖)最大有感距離は約250km(津)となった。

メカニズムは北西-南東圧縮の横ずれである(第2図)。

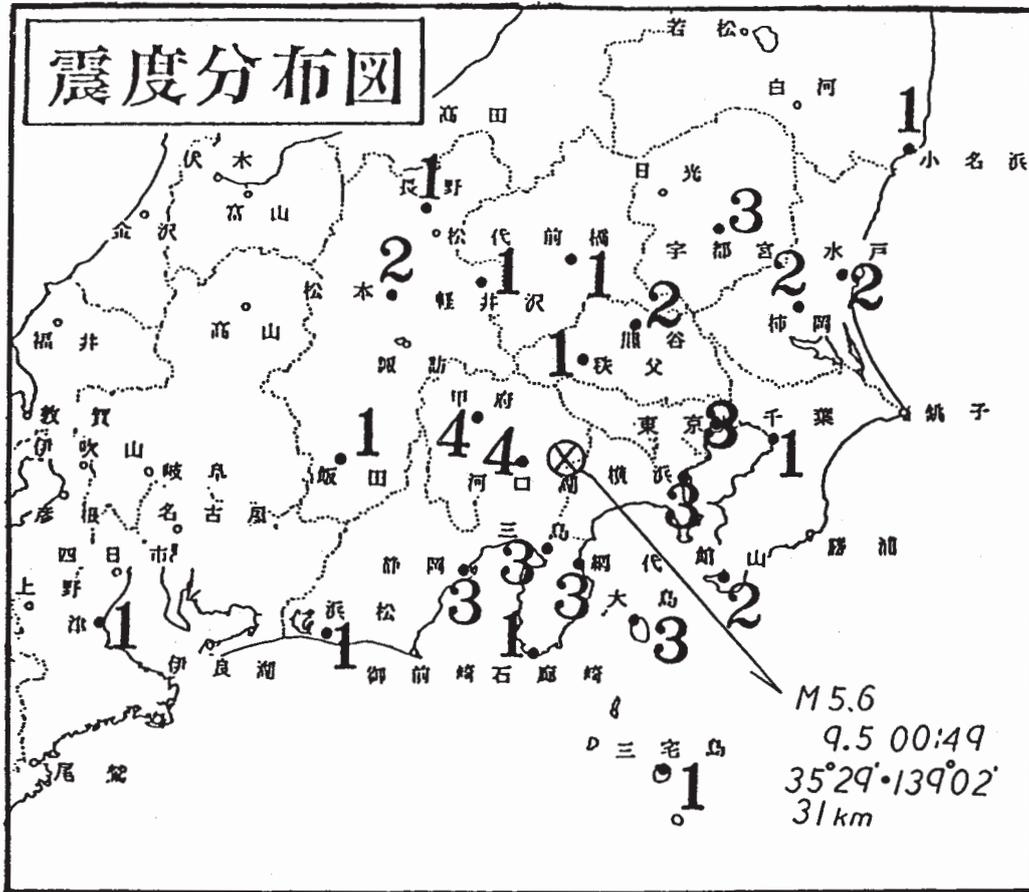
余震活動はしばらく続いたが、9月7日24時00分までの余震数は40個、このうち有感となったものは3個であった。この状況を第3図に示す。①が震央分布、②が①の長方形(実線)で示した範囲の地震に対応するM-T図である。本震は南東端に位置している。なお、先行地震とみられるものが8月22日・28日・31日に各1個観測、いずれもM1~3クラスであったが、28日のものは有感(M3.5・最大震度1)。

この周辺における過去の主な地震(M5.0以上)の分布を第4図に示す。①は1926年1月1日から1988年9月5日までの震央分布であり、②は①の長方形(実線)で示した範囲の地震についてのM-T図である。地震番号(1~6)は発生年代順に付したもので、このうち1と5と6は被害地震。この付近では1970年代からサイスミシティがやや上昇して来ているとみられる。

注1: 本資料のうち、昭和63年6月1日以降は暫定である。

注2: 9月7日以後の余震活動について9月9日~18日にかけてと10月3日~17日にかけてやや活発化したが、余震活動は順調に衰退している。余震数は9月8日00時00分~11月16日09時00分までに35個(このうち有感は3個)発生したため総計75個となった。なお、最大余震は9月5日07時31分のM4.2(最大震度1)であった。

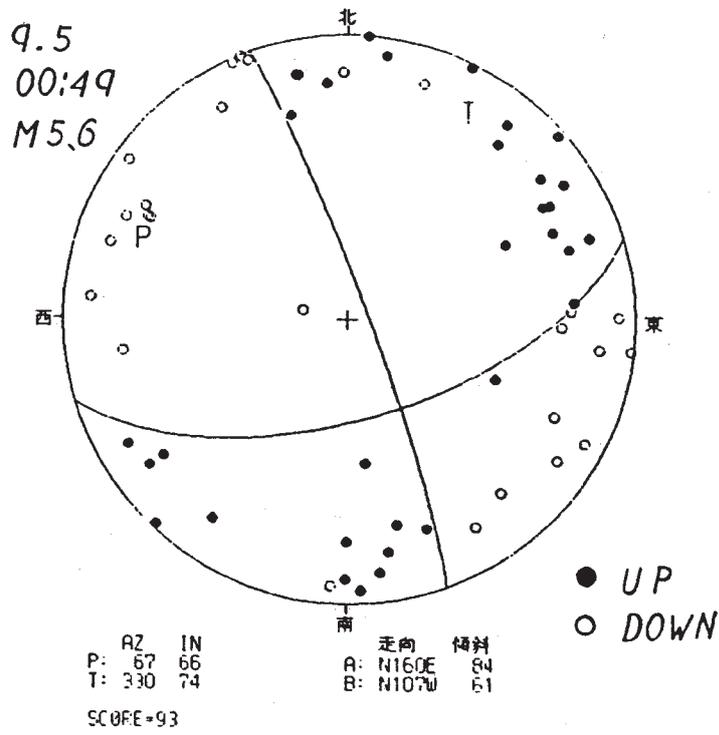
# 山梨県東部の地震 (1988.9.5 00:49 M5.6)



第1図 山梨県東部の地震の震度分布 (1988年9月5日:M5.6)

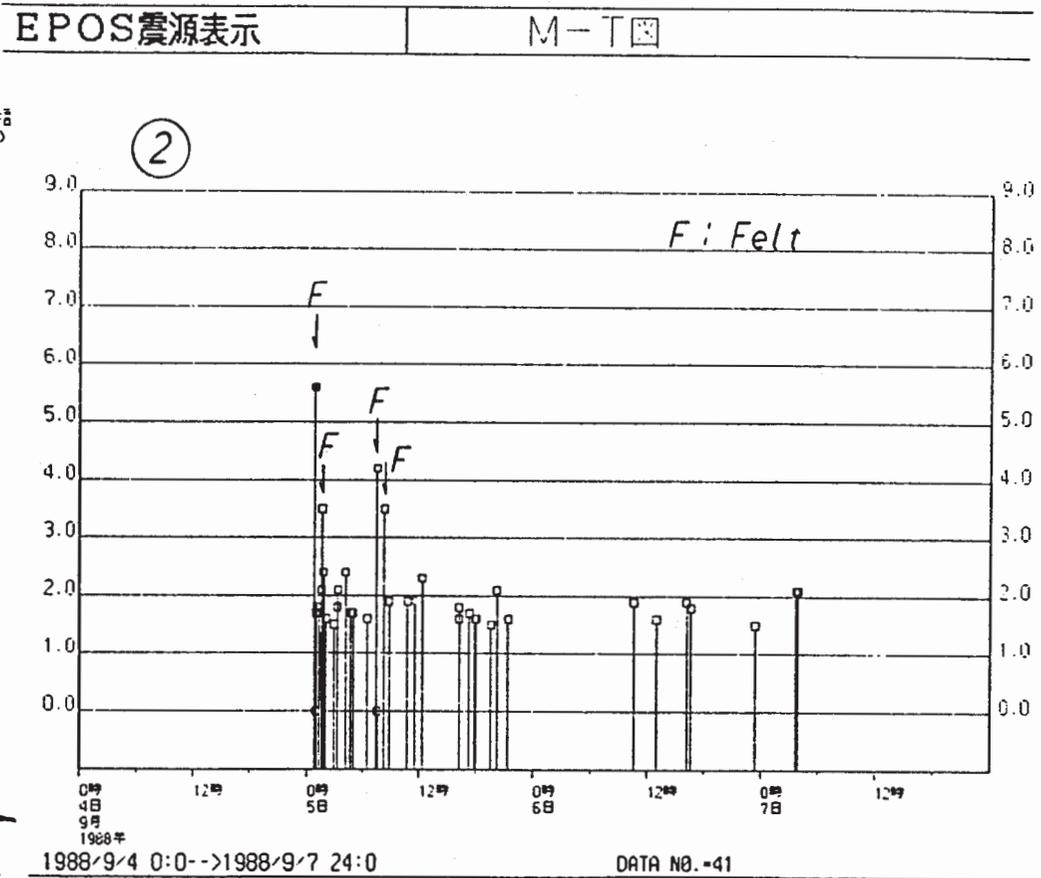
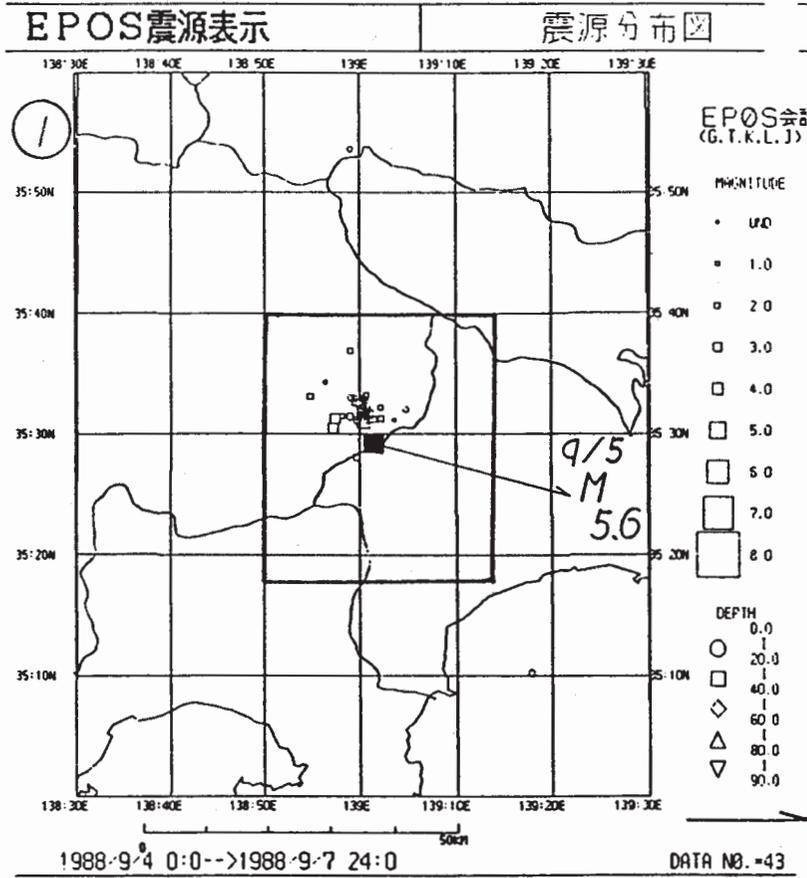
Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake in the eastern part of Yamanashi Pref. (September 5, 1988 : M5.6).

メカニズム解  
上半球投影



第2図 地震のメカニズム解 (上半球投影)  
●: 押し, ○: 引き

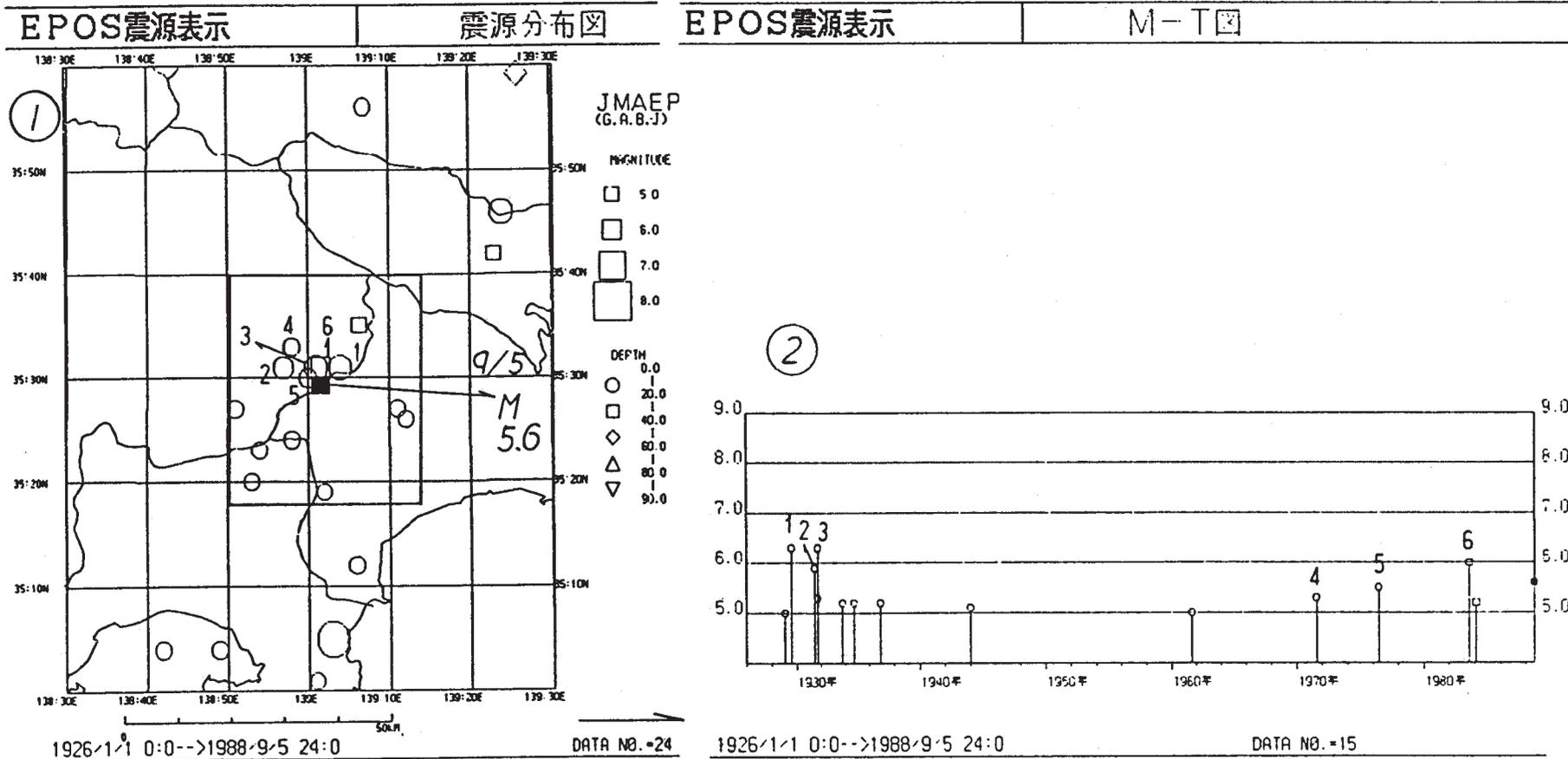
Fig. 2 Focal mechanism solutions. (Projected on the upper hemisphere).  
●: up, ○: down.



(気象庁・東京大学・名古屋大学・国立防災科学技術センターによる)

第3図 山梨県東部の地震活動 (1988年9月4日~9月7日)  
 ①: 震央分布, ②: M-T図

Fig. 3 Seismic activity in the eastern part of Yamanashi Pref. (September 4-7, 1988).  
 ①: Epicentral distribution, ②: M-T diagram.



(気象庁及び東京大学・名古屋大学・国立防災科学技術センター資料による)  
 1988.1.1 →

第4図 山梨県東部の地震活動 (1926年1月1日～1988年9月5日：M5.0以上)  
 ①：震央分布，②M-T図

Fig. 4 Seismic activity in the eastern part of Yamanashi Pref. (January 1, 1926 - September 5, 1988: M ≥ 5.0).  
 ①: Epicentral distribution, ②: M-T diagram.